

どこから見ても、絵になる、マッターホルン。

晴れの日も、風の日も、曇ってる日も、時に、腰まで、雪に埋もれて、

ベストチャンスを待つことも.....

早朝も、夜も関係なく、勿論、遭難は避けたい。体力が不可欠。そして、作戦。

いい画像が取材できた時の、夜の食事タイムは最高。

睡眠も熟睡。翌朝の目覚めは、爽快。<sup>そうかい</sup>好循環と、ラッキー、スマイル、オン、ミー。



ホテルにて、こんな瞬間もあった。

## ～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

毎日、一日中、トレッキング。気力充実。好きだからできる。

旅は、最低でも1ヶ月。2ヶ月のひとり旅が多かった。八十八日間のひとり旅も、2回。

旅立ち前には、トレーニングは終了している。約40カ国のひとり旅、達成。

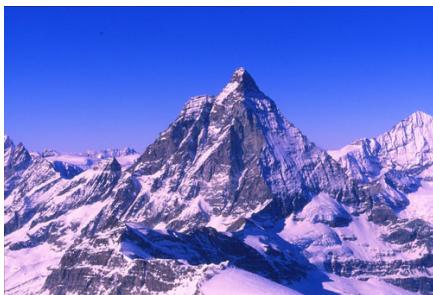
その上、最盛期は、15年間、一度も休んだことがない。行動記録を所持。私の宝物。

雪の中や、僻地で、一番役に立つのは、**体力**であり、**耐久力**。そして、**気力**。

オーストラリアの灼熱の地や、スカンジナビア、ノールカップ、極寒の地での暴風との遭遇。

画像記録どころではない。今となっては、いい思い出であり、心の財産。

ホームページとは別に、出版はしないが、2冊目の本も、ライフワークの一つ。



スイスアルプス。マッターホルンだけではない。